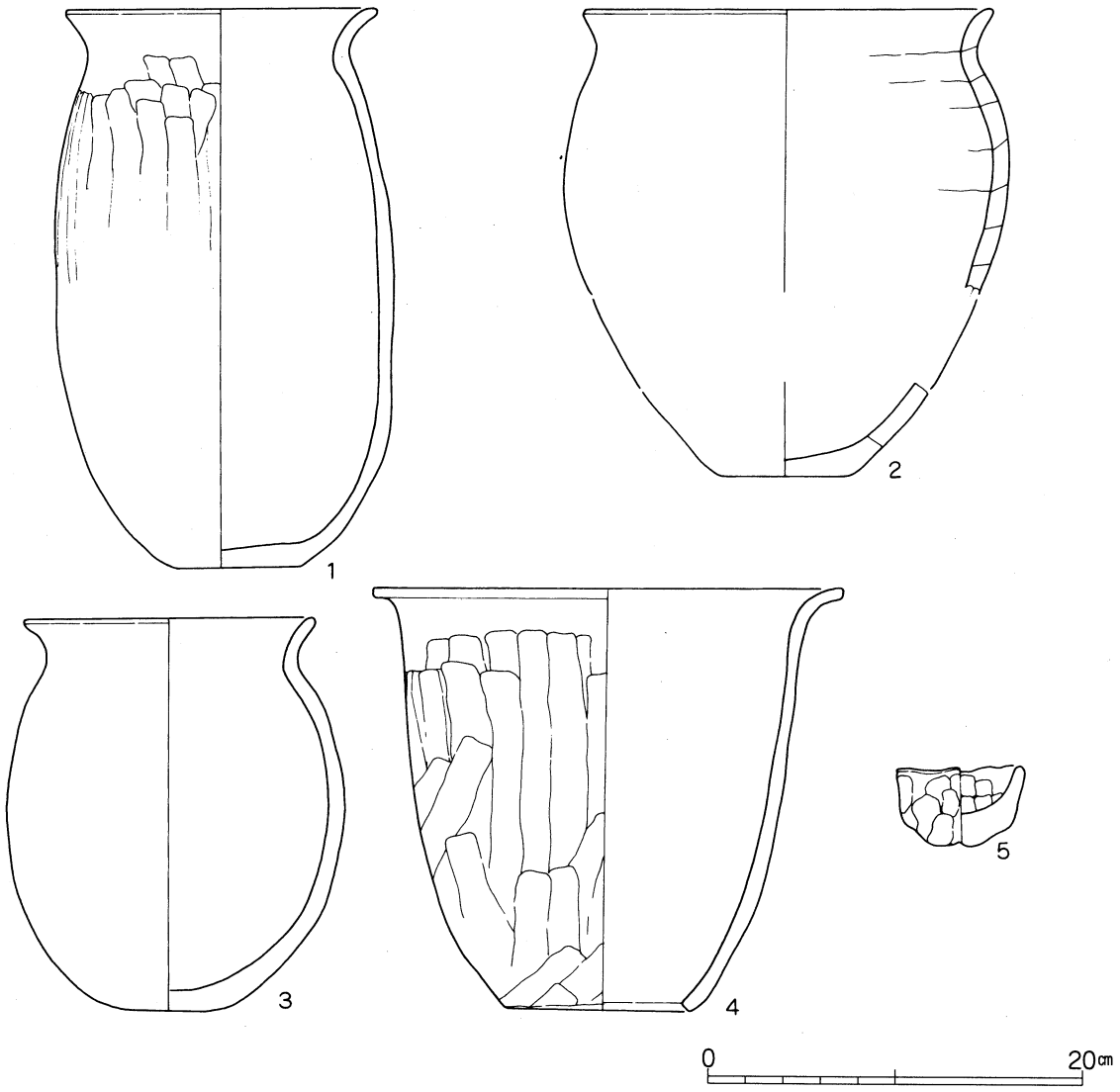

Fig.289　第29号住居跡出土遺物

る。口縁部は大きく外反する。外面口縁部は横ナデ、胴部は縦位のヘラケズリ。内面口縁部横ナデ、胴部ナデで仕上げている。焼成は良好で、橙色を呈する。５は椀形を呈する手捏土器。完存する。器高4.2cm、口径6.8cmを測る。底面は丸底を呈し、体部はほぼ垂直に立ち上がる。口唇部は波状をなす。底部は肥厚し、口縁部にかけて漸次器厚が薄手となる。粘土塊を抉り出して成形されたもので、内外面とも指頭圧痕が残る。焼成は良好で、にぶい褐色を呈する。